

問1 日本は年平均降水量が世界平均の約2倍にあたる約1700ミリに達する島国ですが、1984年から2013年までの統計では、四国や九州、瀬戸内周辺の地域において給水制限が頻繁に実施されています。このように、国全体の降水量が多い一方で、特定の地域で水不足が起こりやすい理由として適切なものはどれですか。（2017年 広島公立入試 類似）

1. 日本の川は長さが短く流れが急であるため、降った雨が短時間で海に流れ出てしまい、水資源として留めにくいから。
2. 四方を海に囲まれているために地下水に海水が混じりやすく、生活用水として利用できる淡水の確保が困難だから。
3. 瀬戸内周辺などの地域は、年間降水量が世界平均の800ミリを大きく下回る砂漠のような気候特性を持っているから。
4. 島国特有の気候により、季節風が山脈に遮られることで、特定の地域には一年中全く雨が降らない仕組みになっているから。

問2 アメリカ合衆国、スイス、日本、ポルトガルの4カ国における、1990年から2020年にかけての1人あたりのGDPの推移や特徴について説明した文として、適切なものはどれですか。（2024年 埼玉県公立入試 類似）

1. アメリカ合衆国とスイスは、1990年から2020年にかけて1人あたりのGDPが顕著に伸びている。
2. 1990年の時点において、1人あたりのGDPが2万ドルを超えていたのは4カ国のうち2カ国のみである。
3. 日本の1人あたりのGDPについて、1990年の数値は2020年の数値の半分以下の水準にとどまっている。
4. 2020年における日本の1人あたりのGDPは、アメリカ合衆国よりも高い水準を維持している。

問3 15世紀末の大航海時代において、コロンブスがヨーロッパから西へ航海してカリブ海の島々に到達した際に横断した海洋は、南アメリカ大陸の東側に位置する海洋と同じものです。この海洋の名称として適切なものはどれですか。（2020年 熊本県公立入試 類似）

1. 大西洋
2. 太平洋
3. インド洋
4. 地中海

問4 2016年の統計資料において、アメリカはNAFTA（北米自由貿易協定）加盟国への輸出が34.2%、ドイツはEU（欧州連合）加盟国への輸出が58.6%といずれも最大の割合を占めています。このように、自国と同じ州や地域にある特定の国々との間で行われる貿易を何と呼びますか。（2020年 秋田県公立入試 類似）

1. 域内貿易
2. 加工貿易
3. 三角貿易
4. 中継貿易

問5 オセアニア地域に近い経度180度の地点には、日付を調整するための「日付変更線」が設けられています。日本から東へ進み、この日付変更線を西から東へ越えて移動する場合、日付の調整方法として正しい説明を選びなさい。（2024年 岐阜公立入試 類似）

1. 日付を1日進める
2. 日付を1日遅らせる（同じ日付を繰り返す）
3. 時刻を12時間進め、日付は変えない
4. 時刻を12時間遅らせ、日付は変えない

問6 世界各地の正確な位置や時差を把握するために設定されている経線について、本初子午線の特徴を説明したものとして適切なものはどれですか。（2016年 千葉県公立入試 類似）

1. ロンドン付近を通る経度0度の線であり、ユーラシア大陸とアメリカ大陸を通過する。
2. 日付の基準となる経度180度の線であり、大部分が太平洋の海面上を通る。
3. 赤道と直交する経度0度の線であり、南アメリカ大陸の東端を通過する。
4. 日本の上空を通る東経135度の線であり、アジア大陸とオーストラリア大陸を通過する。

問7 東経141度に位置する札幌と、西経74度に位置するニューヨークの時差を算出する方法と、その時間の進み方の関係について説明したものとして正しいものはどれですか。（2020年 三重公立入試 類似）

1. 本初子午線を挟んで反対側に位置するため、東経と西経の数値を足した経度差を15で割って時差を求め、より東に位置する札幌の時刻が先に進む。
2. 本初子午線からの距離の差を求め、東経から西経の数値を引いた経度差を15で割って時差を求め、より西に位置するニューヨークの時刻が先に進む。
3. 日付変更線を基準とするため、東経と西経の数値を足した経度差を15で割り、より経度の数値が大きい札幌の時刻がニューヨークより遅れる。
4. 緯度の差が気候に影響することと同様に、東経と西経の数値を15で割ったそれぞれの時間の差を求め、高緯度にある札幌の時刻が先に進む。

問8 赤道から南北に離れた「高緯度」の地域では、低緯度の地域に比べて一年を通した気温が低くなる傾向があります。この理由を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2021年 京都公立入試 類似）

1. 太陽の光が地面に当たる角度が小さく、単位面積あたりに受けるエネルギーが少ないため。
2. 高緯度の地域は低緯度の地域に比べて標高が非常に高く、空気が薄いため。
3. 赤道付近に比べて降水量が多く、常に雲が太陽の光を遮っているため。
4. 高緯度地域には寒流しか流れておらず、暖流の影響を全く受けられないため。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 日本の川は長さが短く流れが急であるため、降った雨が短時間で海に流れ出てしまい、水資源として留めにくいから。	日本は島国であり、中央部に険しい山脈が連なっているため、大陸の河川に比べて川の長さが短く、傾斜が急であるという特徴があります。そのため、せっかく降った雨も短時間で海へ流出してしまうことが多く、降水量が多いからといって常に水資源が豊富に利用できるわけではありません。特に瀬戸内周辺や四国の一部など、地形的な要因で降水が集中しにくい地域や、人口密度に対して貯水施設が十分でない地域では、過去に何度も給水制限が行われてきました。
問2	答え 1 アメリカ合衆国とスイスは、1990年から2020年にかけて1人あたりのGDPが顕著に伸びている。	1990年と2020年の数値を比較すると、アメリカ合衆国とスイスの2カ国は経済成長に伴い1人あたりのGDPを大幅に増加させています。これに対し、日本の成長幅はこれらの国に比べると緩やかです。また、1990年時点での各国の水準や、その後の成長の度合いを正確に把握することが、世界の経済格差を理解する上で重要です。
問3	答え 1 大西洋	ヨーロッパ諸国から見て西側に位置するこの海洋を渡ることによって、当時の航海者たちはアメリカ大陸へと到達しました。南アメリカ大陸の東岸に面していることが特徴で、三大洋の一つとして世界の海上交通や貿易において極めて重要な役割を担っています。
問4	答え 1 域内貿易	特定の地域内で結成された経済組織（経済ブロック）の中において、関税の撤廃や共通の経済政策を通じて取引を活性化させる仕組みを指します。アメリカやドイツのように、地理的に近い「同じ州」の国々が最大の輸出相手先となる現象は、世界各地の地域経済統合が進んでいることを示しています。
問5	答え 2 日付を1日遅らせる（同じ日付を繰り返す）	地球の自転は西から東へ向かっているため、日付は東にある地域ほど早く進みます。経度180度付近に設定された日付変更線を、日本などの西側からアメリカ方面などの東側へ越える場合、もっとも日付が早い地点からもっとも日付が遅い地点へ移動することになるため、日付を1日戻して（遅らせて）調整する必要があります。
問6	答え 1 ロンドン付近を通る経度0度の線であり、ユーラシア大陸とアフリカ大陸を通過する。	本初子午線は経度の出発点となる0度の線です。この線はイギリスのロンドン付近を起点として南北に伸びており、ユーラシア大陸からアフリカ大陸を貫く形で描かれています。反対側に位置する180度の線は日付変更線の基準となるもので、混同しないよう注意が必要です。また、南アメリカ大陸を通るのは西経の経線です。
問7	答え 1 本初子午線を挟んで反対側に位置するため、東経と西経の数値を足した経度差を15で割って時差を求め、より東に位置する札幌の時刻が先に進む。	地球は1日に360度自転するため、経度15度につき1時間の時差が生じます。東経と西経にまたがる2地点間の時差を求める場合、本初子午線（0度）をまたぐため、それぞれの経度の数値を足して合計の経度差を算出します。札幌（東経141度）とニューヨーク（西経74度）の場合、 $141 + 74 = 215$ 度となり、これを15で割ると約14時間の時差となります。また、地球は東から太陽が昇るため、西経に位置するニューヨークよりも、東経に位置する札幌の方が時刻が早く進むこととなります。
問8	答え 1 太陽の光が地面に当たる角度が小さく、単位面積あたりに受けるエネルギーが少ないため。	地球は球体であるため、緯度によって太陽光が差し込む角度（太陽高度）が異なります。赤道に近い低緯度地域では太陽が真上から照らすためエネルギーが集中しますが、高緯度地域では太陽光が斜めに差し込むため、同じ面積あたりに届くエネルギーが分散されて少なくなり、気温が上がりにくくなります。標高や海流も気温に影響を与えますが、緯度による気温差の根本的な原因は太陽光の入射角にあります。